東北の未来を、若者に託す チャリティ・プロジェクト

『SKY BATON』第2弾「チャンス・フォー・チルドレン」

行こう！東北へ JAL東北応援プロジェクト

2014年12月から2015年3月にかけてご協力を呼びかけた『SKY BATON』東北応援チャリティ・マイル。このプロジェクトを通じて、今年度学校外教育の機会が提供される48名の子どもたちが決定しました。今号では、夏休みに実施した仙台空港での子どもたちとの交流会の様子と併せて、ご報告します。

震災により困難な環境にある子どもたちを応援

JAL東北応援プロジェクト「行こう！東北へ」は、2013年6月より「地元の振興」と「被災された方の応援」のふたつの側面から、さまざまな取り組みを行っています。そして後者の取り組みのひとつとして同年12月に立ち上げたのが、SKY BATON。JALチャリティ・マイルの仕組みを活用して、大人から東北の未来を築いていく子どもたちや若者に、「マイル」と「気持ち」というバトンを託す、チャリティ・プロジェクトです。

第2弾となった2014年度には、公益社団法人「チャンス・フォー・チルドレン」（以下、CFC）を通じて、東日本大震災による経済的困難によって、十分な学びの機会を得られなくなった子どもたちに、未来の展望を描き、夢や希望に向かって勉強やスポーツに打ち込める環境を提供する活動を支援しました。

約3カ月半にわたり実施したチャリティ・マイルには、1354名のJMB会員の皆さまより、637万8000円相当のマイルが寄せられました。同額をJALが上乗せし、今年3月末に総額1275万6000円をCFCに寄付し、JALの飛行機が印刷された、塾や習い事などに利用できる教育クーポンがつくられました。昨年度から継続してクーポンを利用する14名の子どもたちに加え、8月には新たにクーポンを利用する子どもたちのうち34名がJAL／CFCクーポンを受け取ることとなりました（小学生：30名、中学生：5名、高校生：13名／宮城県：32名、岩手県・福島県：各8名）。

教育クーポンを活用して一歩ずつ夢に近づく

新たな利用者が決定して間もない8月22日。JALはCFCと共同で、CFCの教育クーポンを利用する、小学校低学年から高校生までの45名の子どもたちと、その保護者の方々を仙台空港にお招きし、「JAL×CFC交流会／JALクーポン贈呈式」を実施しました。贈呈式には、JAL社長の植木も駆けつけ、「困難に負けず夢に向かって一歩ずつ進んでいこう」と応援のメッセージを送りました。

子どもたちを代表して挨拶した庵原丈くん（小学校6年生）は、当時住んでいた岩沼市で津波被害を受け、がれき撤去を行ってくれた米国兵にお礼のひと言が言えなかったと振り返ります。「今回クーポンを利用することで、英語を学ぶスタート地点に立つことができた。これを絶好のチャンスにして、あのとき言えなかった感謝の気持ちを、自分の言葉で伝えられるようになりたい。そしてプロ野球の楽天球団の職員という夢に、一歩でも近づけるように努力していきたい」

また、家族は幸い全員無事だったものの、住居が被害を受けたという熊谷玲音さん（中学校2年生）は、家族や支援の手を差し伸べてくれたすべての方々に心から感謝していると言います。「現在、父や祖父母が病気を患うなど厳しい状況にあるが、家族は私の夢を応援し、支えてくれている。自分自身のため、そして応援してくれる家族や多くの方々のために、世界中の人たちを感動させられるバレエダンサーになるという夢をかなえたい。そのために必要な、何事も諦めない強い気持ちと精いっぱいの努力、日常生活の意識、そして外国人とコミュニケーションをとる力、すべてをもてるように頑張っていきたい」

交流会では、子どもたちの将来の夢や選択肢が広がるように願いを込めて、空港見学とJALお仕事講座を実施。間近で飛行機を見たり、仙台市出身のパイロットとキャビンアテンダントからそれぞれの仕事についての話を聞きました。興味津々の子どもたちだけでなく、保護者の方からも質問が出るなど、終始和やかな交流会となりました。

被災地には、ご家庭の状況から学校外教育を諦める子どもたちがまだ多数いるそうです。私たちは、JMB会員の皆さまのご協力のもと、2015年度もこの活動を応援してまいります。

JAL／CFCクーポンの贈呈式では、JAL社長の植木が、自分の経験も語りながら子どもたちを応援。その後の交流会では、駐機場に出て飛行機のすぐそばで説明を受けた後、パイロットとキャビンアテンダントによるお仕事のお話に目を輝かせました。

子どもたちの声が届いています

仙台市・阿部暢さん（中学校３年生）

石巻市・庵原丈くん（小学校６年生）

仙台市・熊谷玲音さん（中学校２年生）

仙台市・木下英音さん（中学校３年生）

石巻市・栗野凜さん（小学校６年生）

名取市・佐藤竜太朗くん（小学校２年生）

SKY BATON 東北の未来を、若者に託す。 JAPAN AIRLINES

今回ご紹介をしたSKY BATONに関しては、ウェブサイトもご参照ください。
www.jal.co.jp/tohokuproject/skybaton/index.html